

平成 31 年 3 月 7 日

平成 30 年度病害虫防除技術情報（第 2 号）

和歌山県農作物病害虫防除所

タマネギベと病の発生状況について

1. 対象作物 タマネギ
2. 対象地域 県北部
3. 発生時期 2～5 月
4. 発生状況

- 1) 3 月上旬の県北部におけるタマネギベと病越年罹病株の発生ほ場率は 6 %、発病株率は 0.04%であった（表 1）。
- 2) 3 月上旬の県北部におけるタマネギベと病の二次感染株は認められなかった。

表 1 県北部におけるタマネギベと病越年罹病株の発生推移（平成 31 年）

調査月日	2月5日	2月22日	3月5日
調査ほ場数	24	32	32
発生ほ場率(%)	0	3	6
発病株率(%)	0.00	0.03	0.04

注) 調査場所: 和歌山市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町

5. 発生予想

春期の感染源となる越年罹病株が発生している。気象予報（大阪管区气象台、平成 31 年 2 月 28 日発表）によると、向こう 1 か月の平均気温は平年に比べて高く、降水量も多い見込みである。そのため、本病の感染に好適な気象条件（気温 15℃前後で曇雨天が続く）になりやすいと考えられ、今後の発生増加が懸念される。

6. 防除対策

- 1) 前年に発生が多かった場合は、本年も発生しやすいので注意する。
- 2) ほ場をこまめに見回り、越年罹病株の早期発見と抜き取りを徹底する。抜き取った株は、ほ場の外に持ち出し適切に処分し、早急に薬剤散布を行う。
- 3) 発生が認められないほ場においても予防散布を行う。二次感染株が認められた場合は、早急に薬剤散布を行う。
- 4) 薬剤の感受性低下を防ぐため、同一系統の薬剤は連用しない。
- 5) 排水を良好にし、降雨による浸冠水や停滞水をなくす。
- 6) 農薬については、（独）農林水産消費安全技術センターの農薬登録情報提供システム（https://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm）で最新の登録情報を参照し、適正に使用する。

担当：農作物病害虫防除所
岡本晃久
電話：0736-64-2300